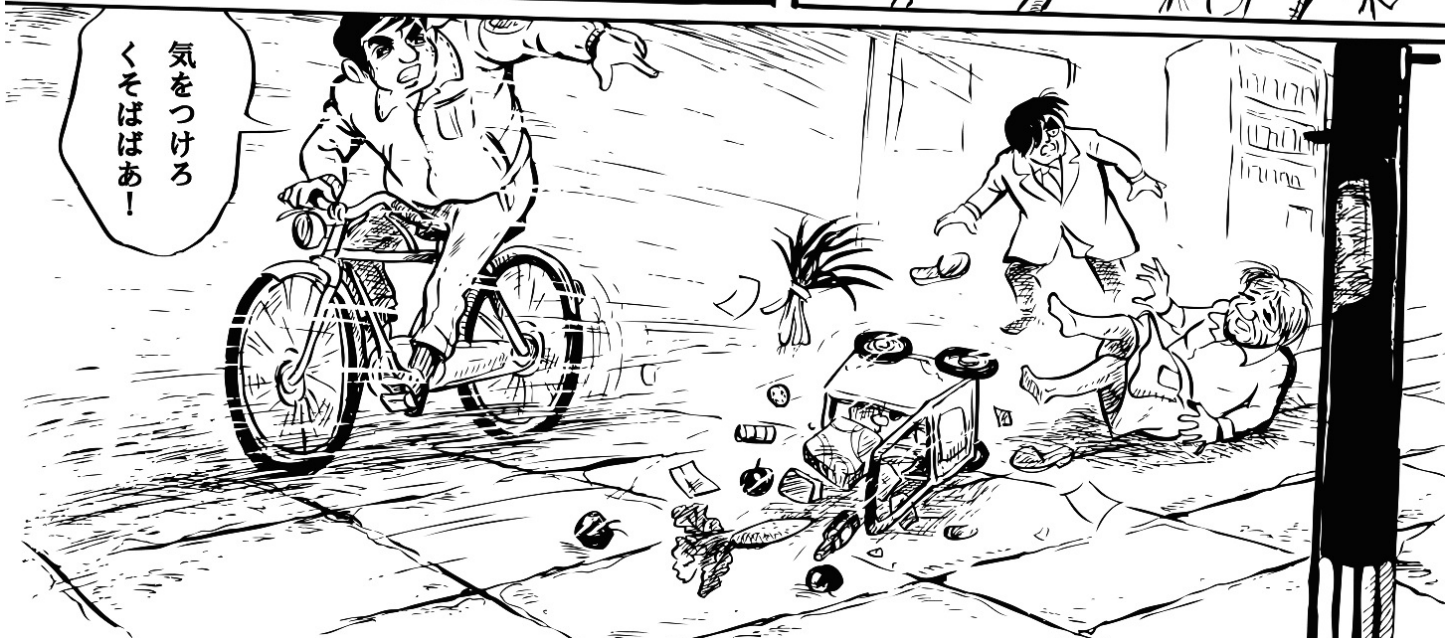
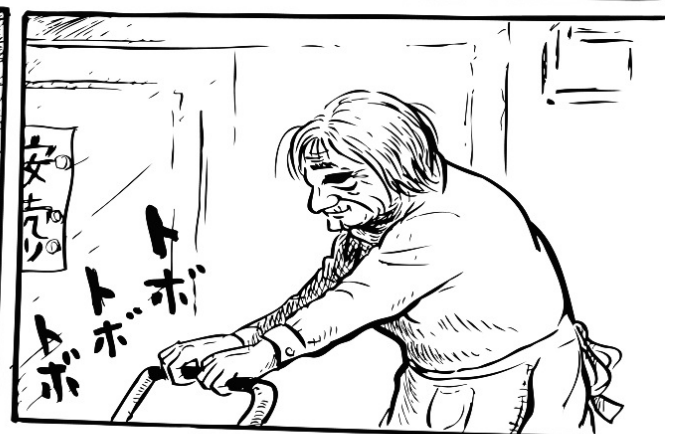
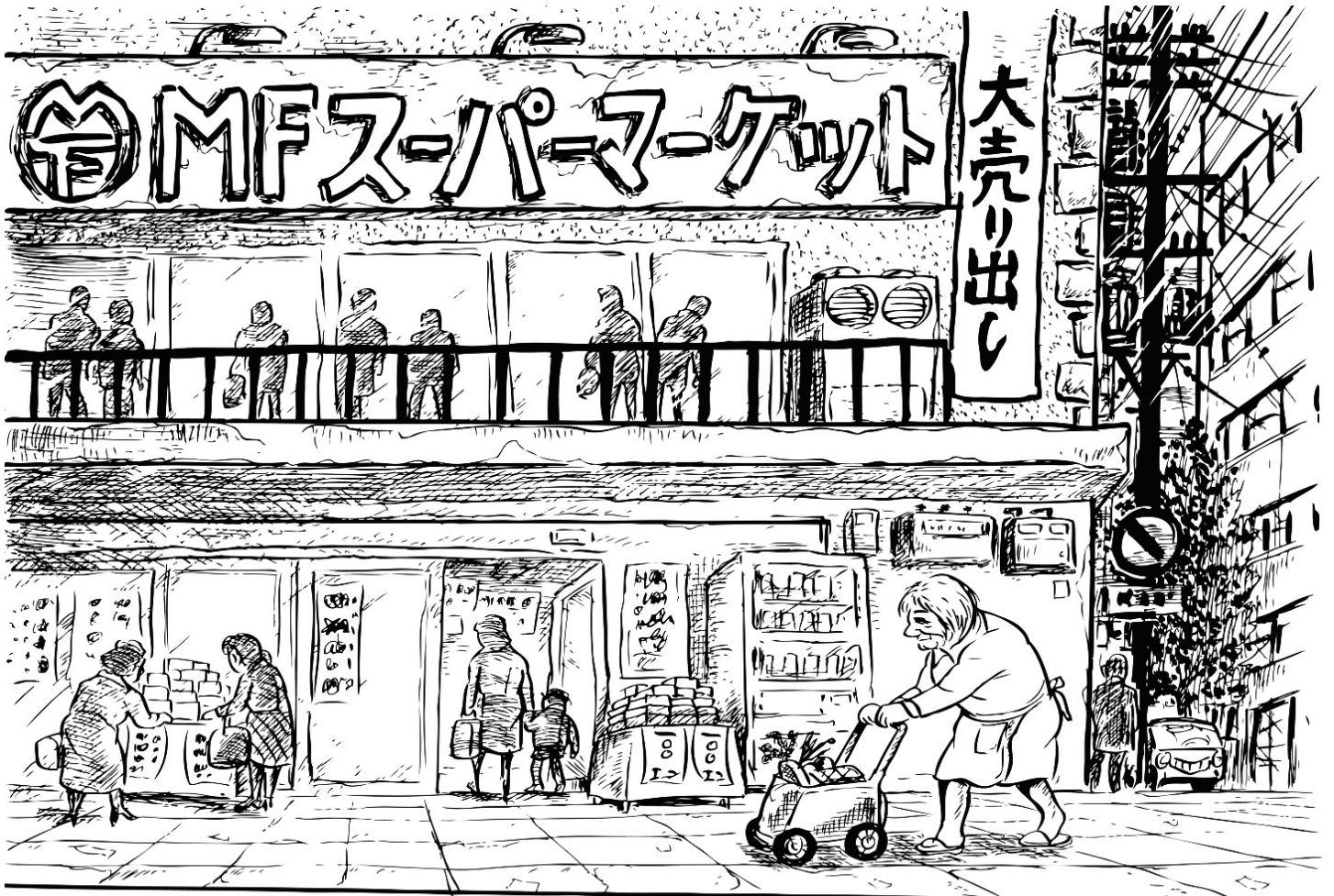
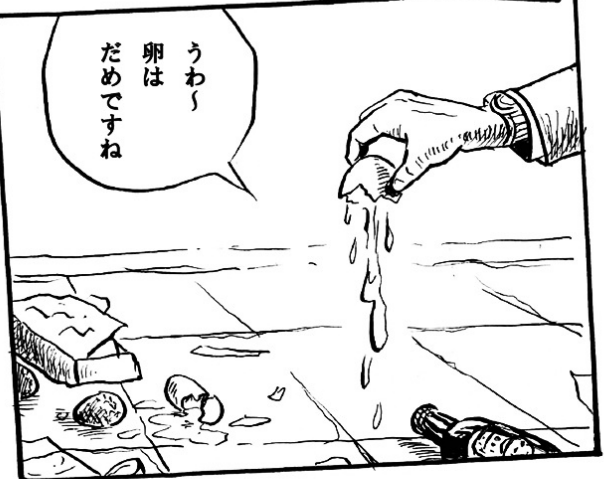
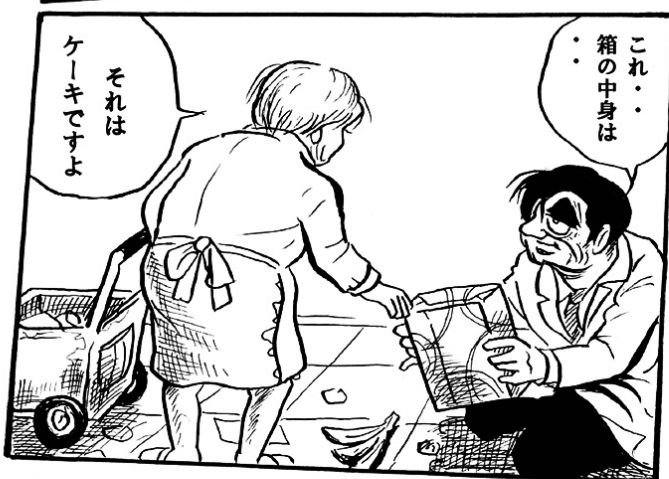
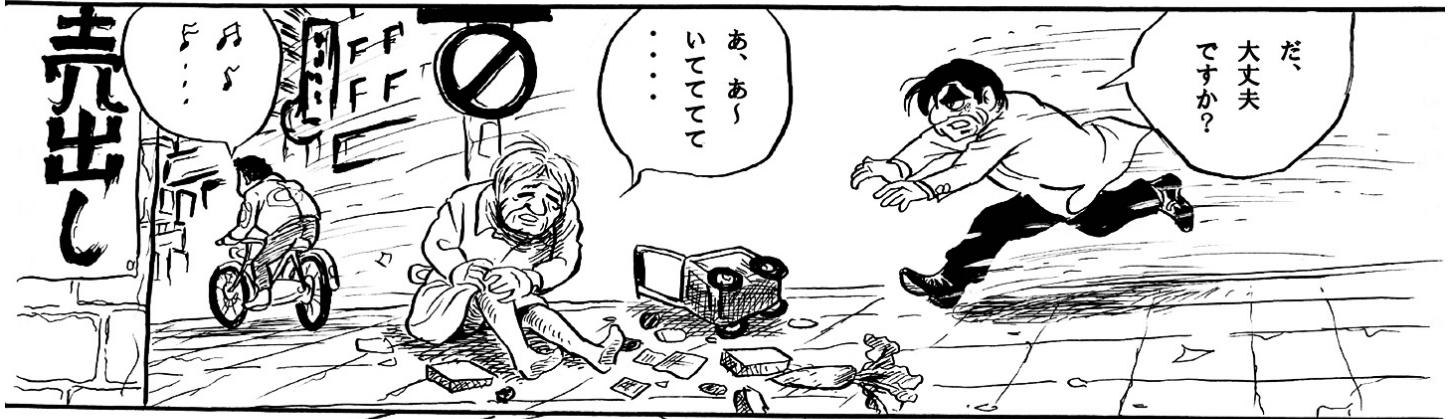
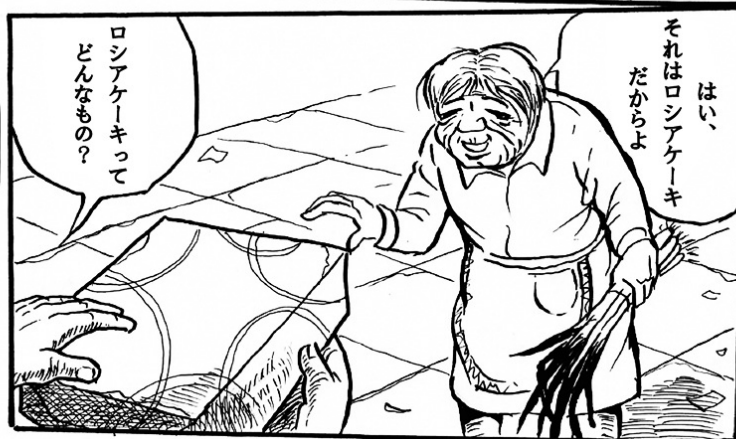


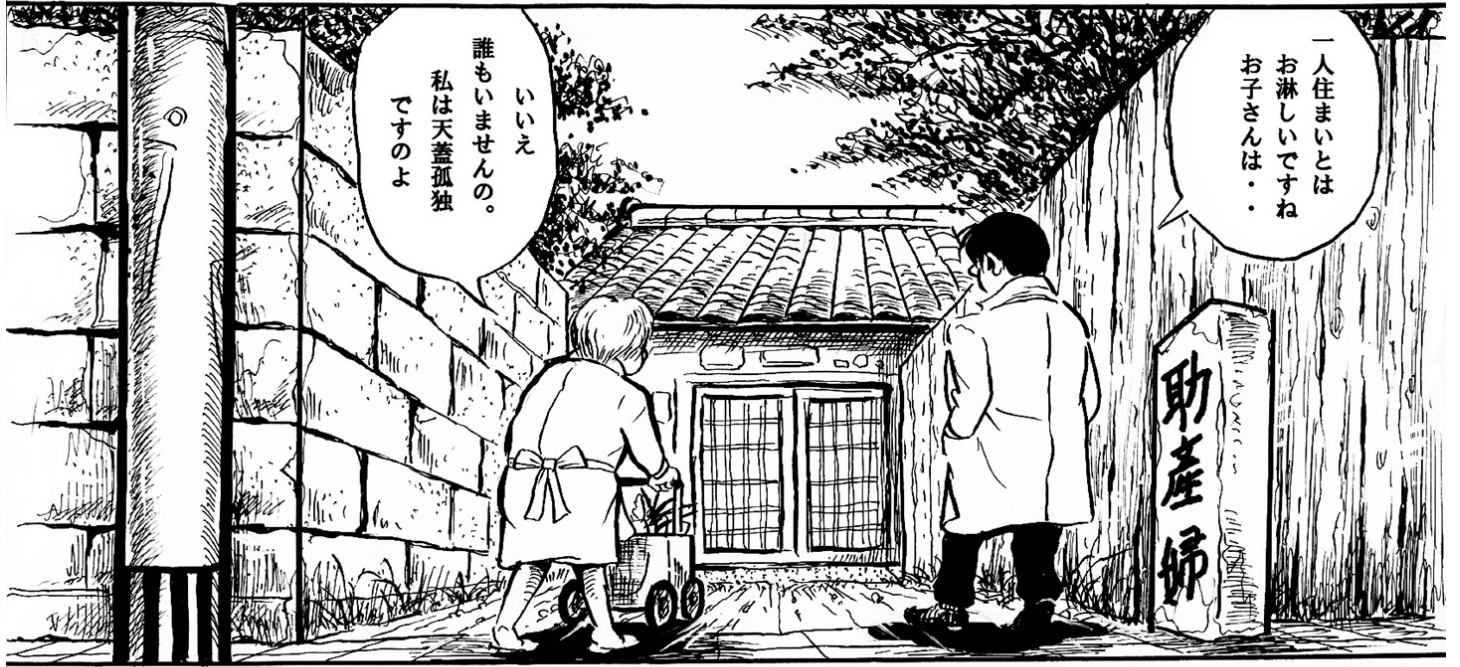
Disappearance











一人住まいとは
お淋しいですね
お子さんは・

いいえ
誰もいませんの。
私は天蓋孤独
ですよ

助産婦



古い家ですが
どうぞ
お入りください

ほう、
百年以上は
たつていそうですね
こりゃすごい

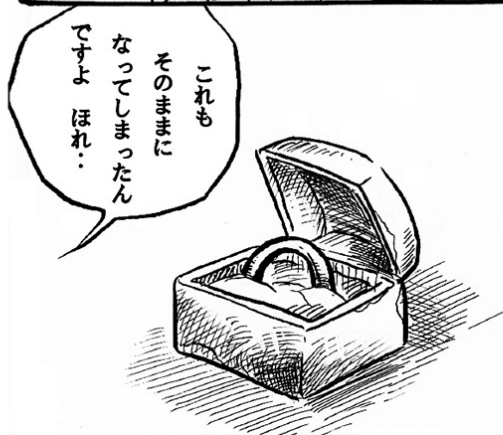
ガラガラ



はい、
私の年よりも
古いんですよ

ありがとうございます
どうぞ
おかまいなく
おばあちゃん

おいしい
お茶でも
お入れします
から
どうぞ





昔、むかしのことなのよ
お話を聞いて
いただけるん
ですか？



でもね・それが
できるよ様に
なったの
え？
どうしてこんなに
時を経てから・



はい・あの
それがですね・
つまり・
えーと

おや
私の事で
何か預言でも？



私に
何かを
感じます・
えーと・

ちょっ
ちよっと待って
ください・



あなたには
災難が
待ち受けて
おります

申し上げても
いいのでしょうかね・
少しショックかも
しれませんが



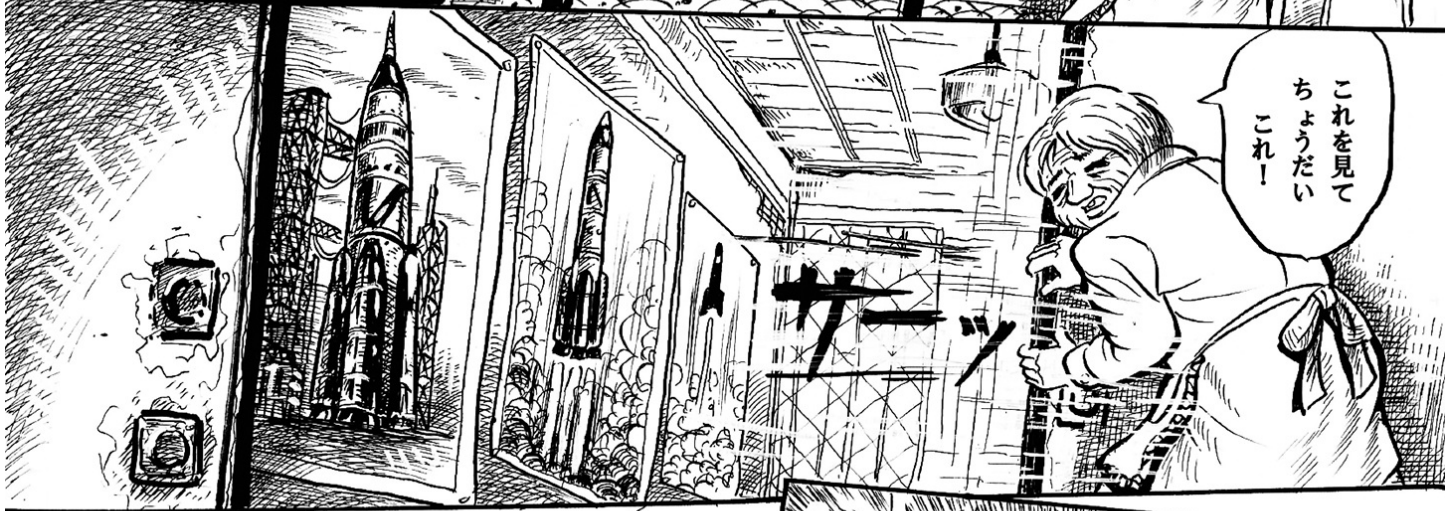
はい・
あの
実は・その・

何か・
わたくしに悪いことでも
おきるんでしょうかね・



それがですね・
何故か
ロケットの災難
なのですよ・
ロケットの

え？
ロケット
ですって？
…





乗って
宇宙に行くのが
夢でした

北大路さんの
おっしゃる通りよ
実は55年前

その頃の人は25歳
ロケットが
大好きでしたわ

今日では
珍しい事ではありません
でもその当時は…

この方の事が
ある外国人に
しれましてねえ
ある日…

人類が宇宙
などへ行く
時代では
ありませんでしたよ

その奥へ
行くこと
なったんです

既に結婚の
約束も
しておきましたのに

じゃあお式も
挙げずに
ですか

はい
その通りですよ

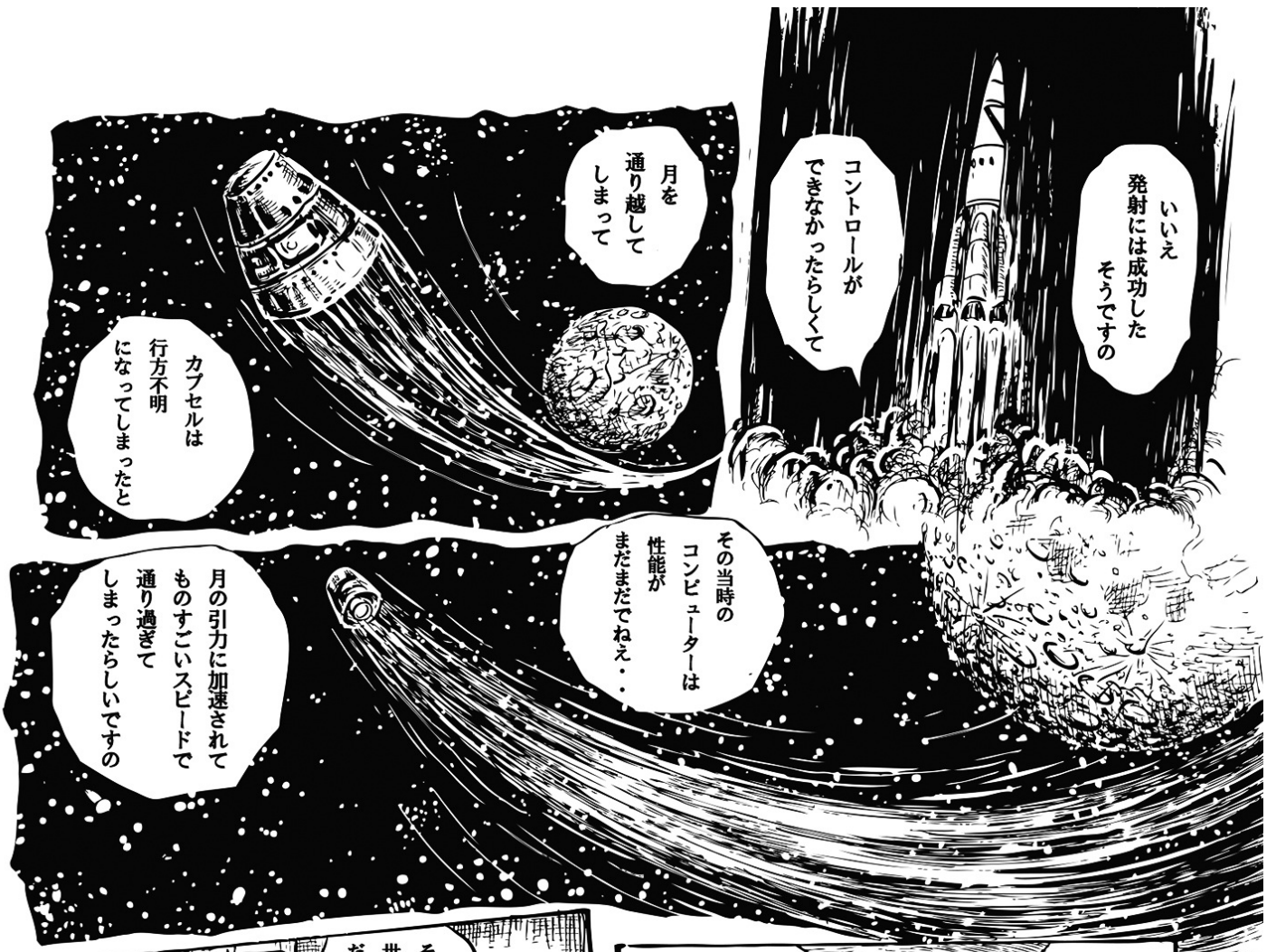
宇宙から
帰ってからにしよう
ってね

延ばすことに
なっていました
のよ

それは
お淋しい
ことでしたね…







いいえ
発射には成功した
そうですの

コントロールが
できなかったらしくて

月を
通り越して
しまつて

カプセルは
行方不明
になつてしまつたと

その当時の
コンピューターは
性能が
まだまだでねえ・

月の引力に加速されて
ものすごいスピードで
通り過ぎて
しまつたらしいですの



それは
世界の大ニュース
だったでしょう

いいえ私以外のものに
一切他言は
禁じられました



それじゃあ
宇宙の彼方に・

はい
行方不明に
なつてしまつ
たのです

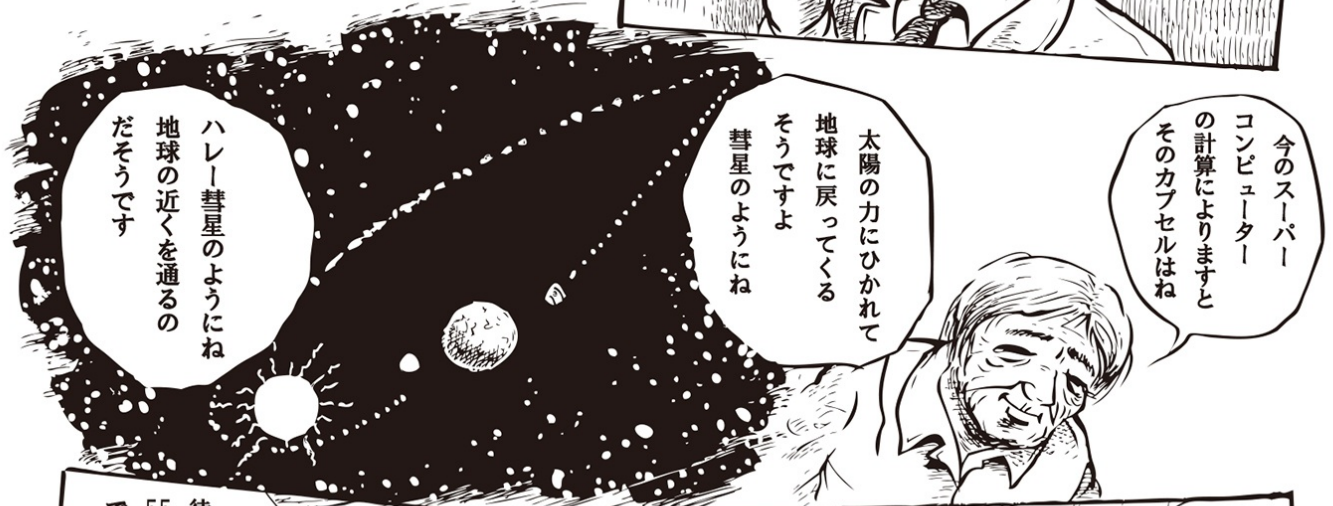
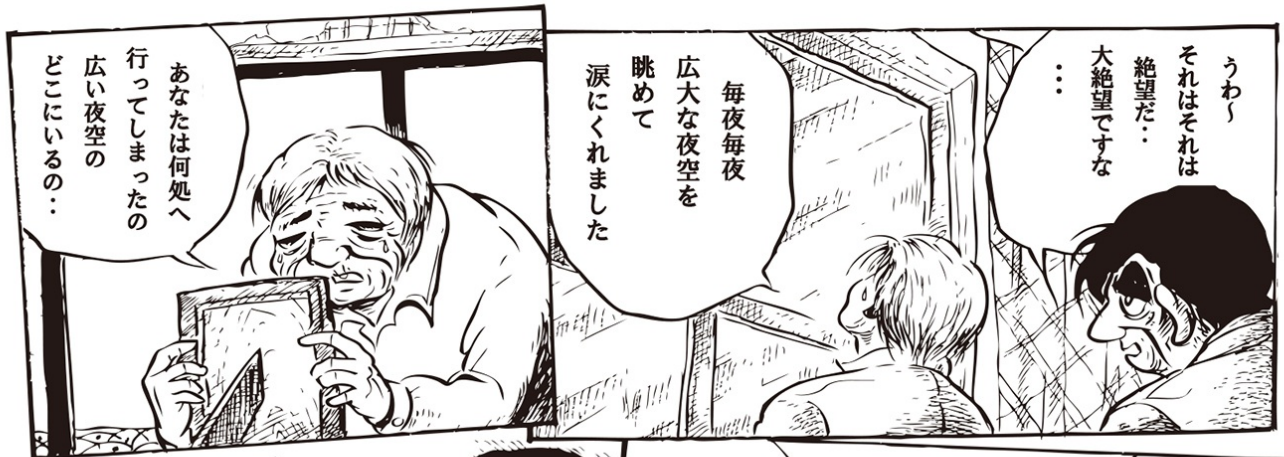


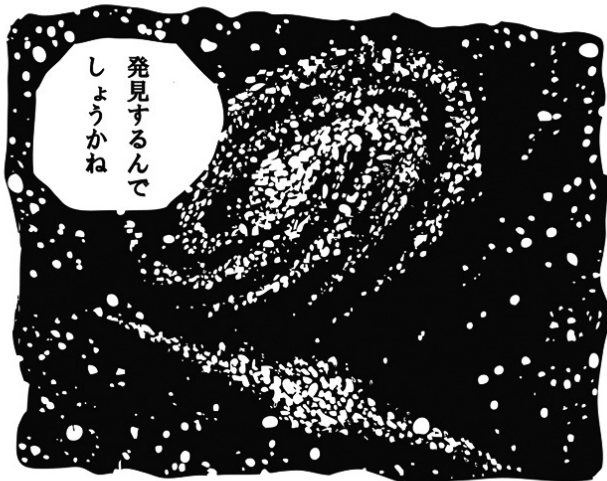
あなたの預言通り
まさに
ロケットの災難
ですわ



じゃ未だに
この人は

そのまま
宇宙のかなたに
行方不明のまま
ですか





発見するんで
しょうかね



宇宙は膨大に
広いんですよ
どうやって

でも：ですねえ
いくら近くと
いっても



それがですね

先日連絡が参りまして
カプセルが
見つかりましたの

それくらい
今の科学は発達
してるんですよ

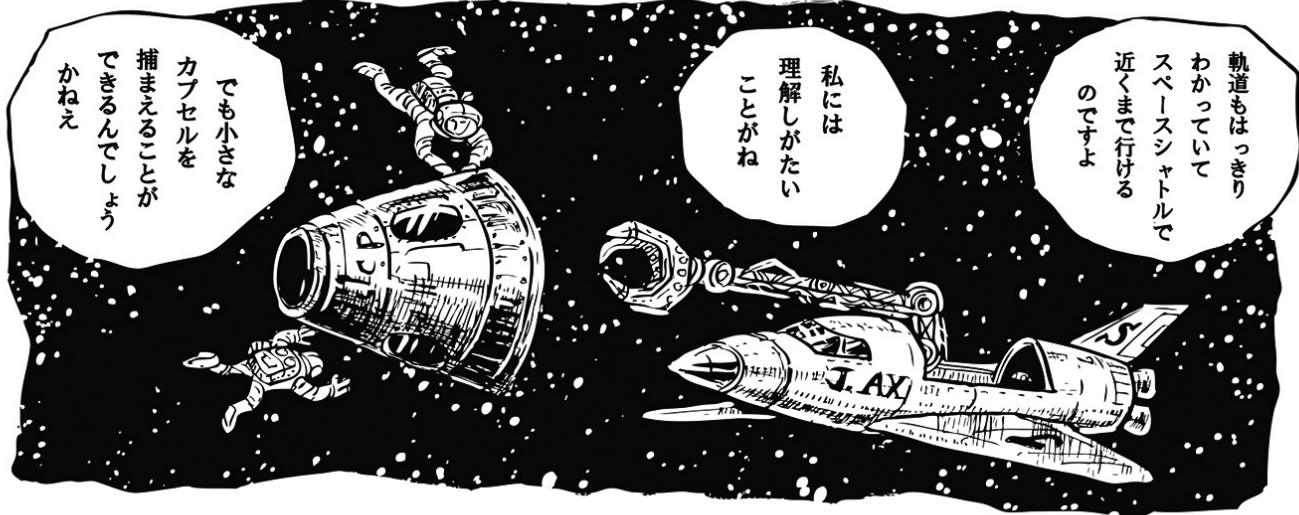
エッ そんなに
小さなものでも
みつけたせるん
ですか



ええ
彗星とおなじように
太陽系の中心へ
戻って来るんだそう
です

55年ぶりに
地球に大接近する
んだそうです

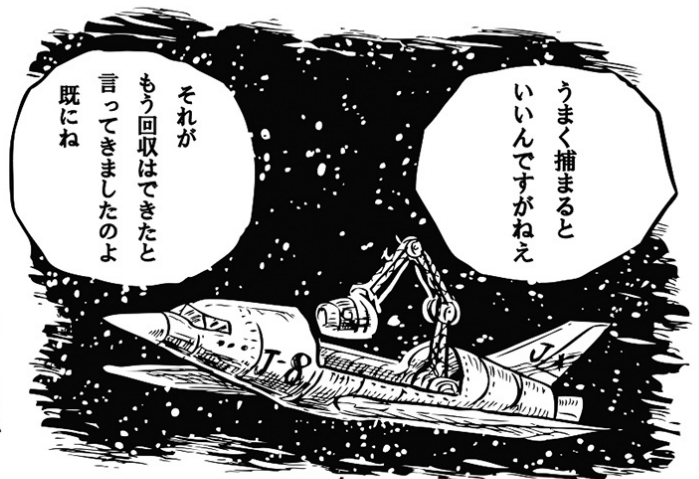
それは
凄いことだ…

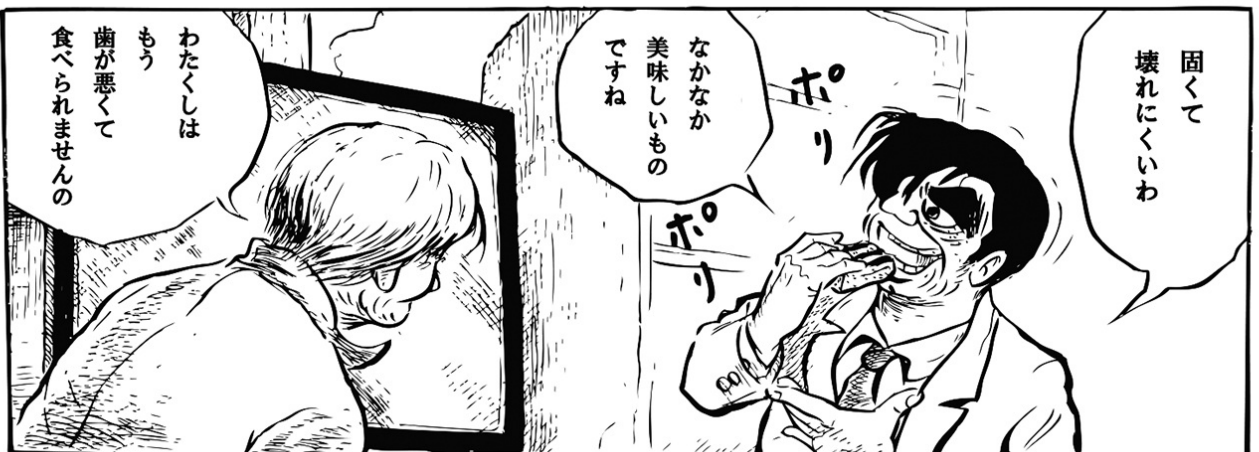
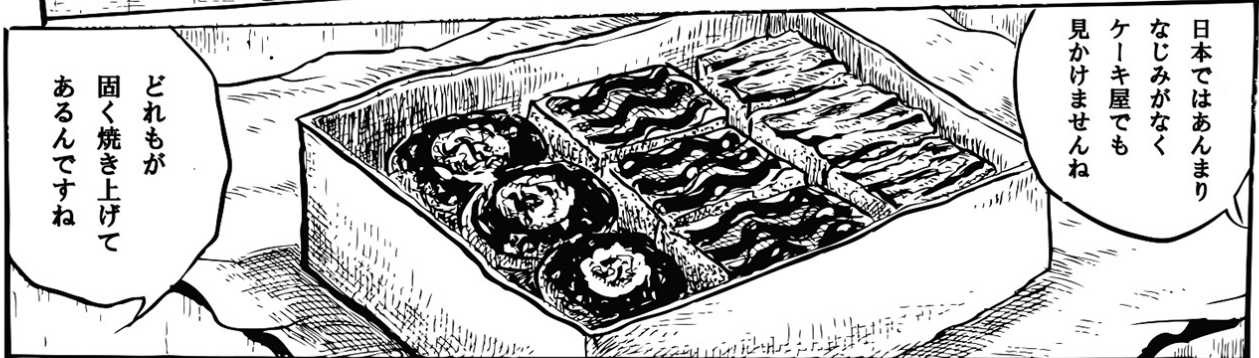
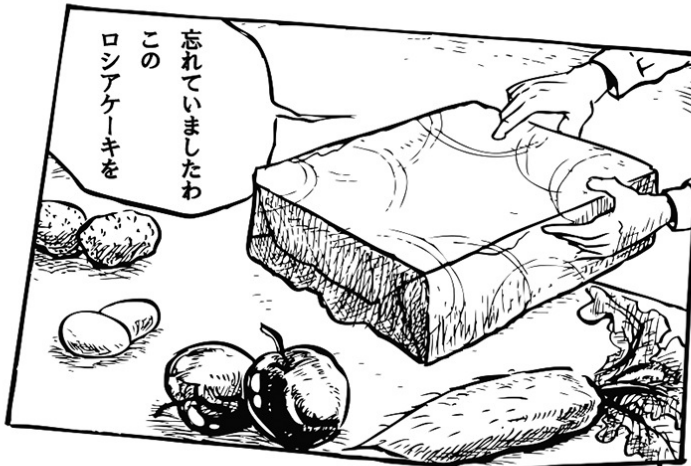


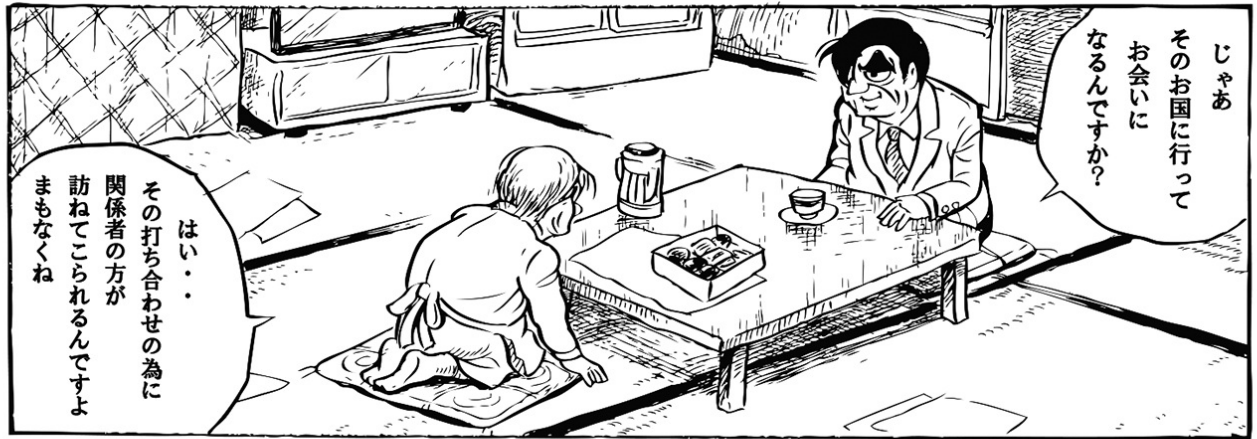
軌道もはっきり
わかっていて
スペースシャトルで
近くまで行ける
のですよ

私には
理解しがたい
ことがね

でも小さな
カプセルを
捕まえることが
できるんでしょう
かねえ











でも お婆ちゃんの
これから起こる
ロケットの災難とは…

何事もない事を
祈りたいが…



昔の恋人に
会えるのも
嬉しいのか
悲しいのか…

御自分だけが
年をとって

複雑な
気持ちだろうな
きっと…

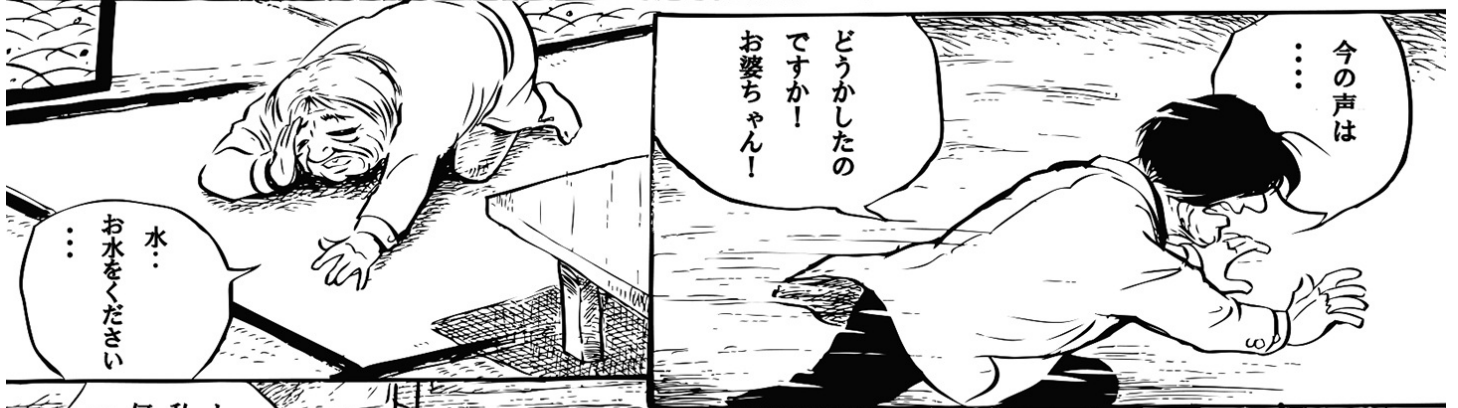


あのお年で
異国は
大丈夫だろうか

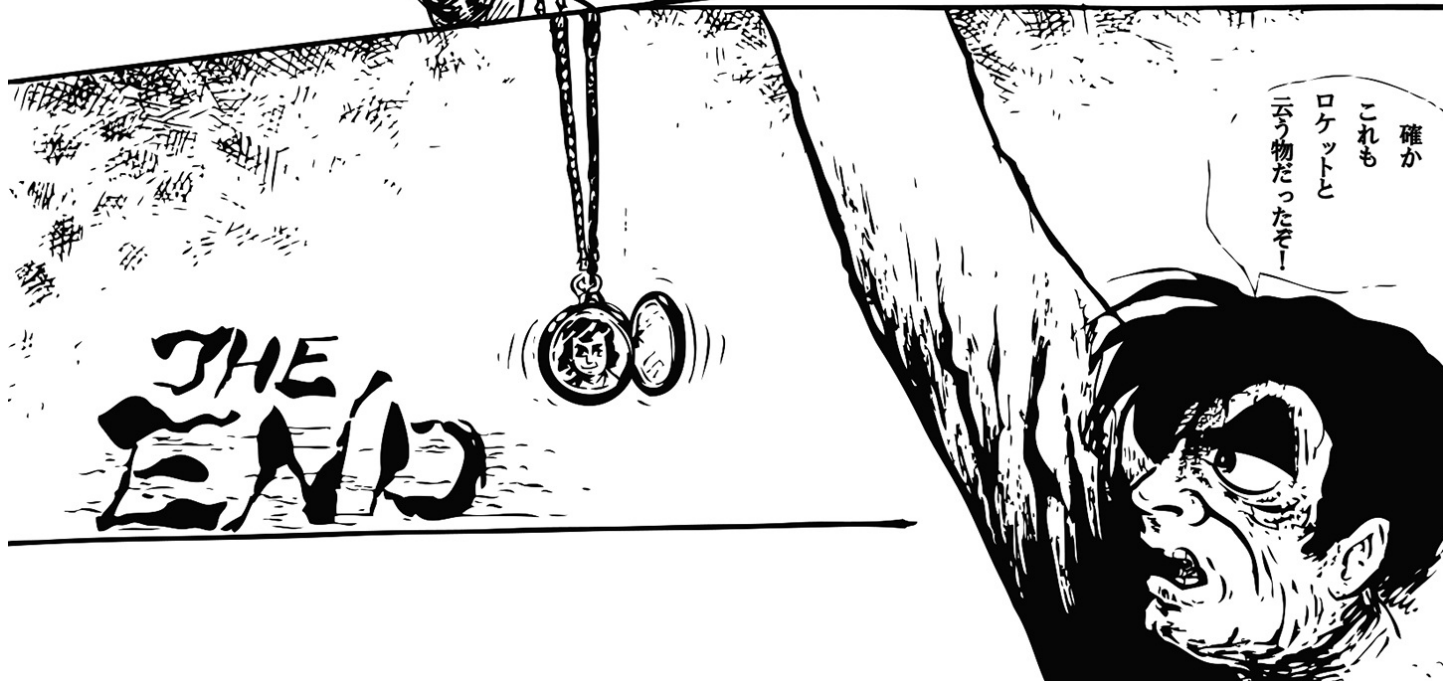
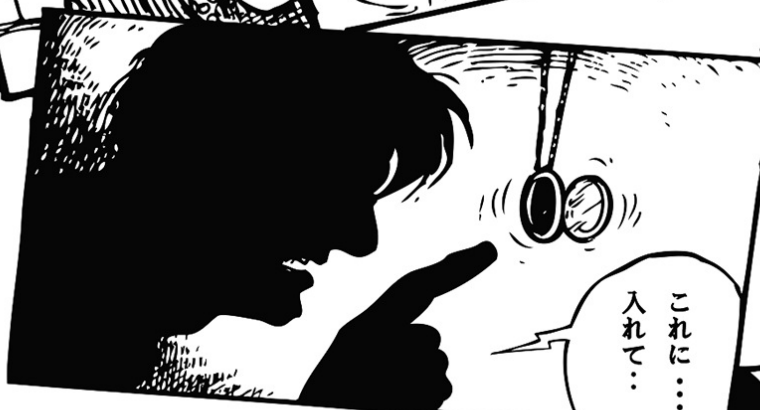
信じ続けて
やっと会える
喜びで
支えられる
だろうか…

恋人は永遠に
その時のまま
…

そもそも
永遠とは
可能なのか…
うん
色々わからん
雑念が…







「行方不明」

<http://p.booklog.jp/book/96731>

著者：山森ススム

<http://p.booklog.jp/users/hakudainokakaku/profile>

山森ススム プロフィール

1955年(昭30)『金龍街の狼』でデビュー。スリラーないしはサスペンス作品に傑作が多い。劇画創成期のマンガ家(劇画家)グループ「劇画工房」のメンバー。総勢8名が参加した劇画工房の山森以外のメンバーは次の7名。石川フミヤス、K・元美津、さいとう・たかを、桜井昌一、佐藤まさあき、辰巳ヨシヒロ、松本正彦、以上7人の順。

昭和30年代の約10年間、マンガ家として活動するが、その後は、西陣の世界へと転身する。引箔織による帯や草履、鞆加工など様々な商品を手がける。現在は螺鈿の工芸作家として活躍されている。

本作「行方不明」は未公開描き下ろしの劇画である。

山森ススム(山森博之)の現在の工房のHP：京都螺鈿工房HP <http://kyoto-hakuho.com/>

発行元：ハクダイ文庫

昭和マンガ研究サイト「ハクダイのカカク」

<http://hakudai.club/>

2015年4月27日発行
